

事 務 連 絡
令和7年2月4日

一般社団法人埼玉県弓道連盟会員 各位

一般社団法人埼玉県弓道連盟
専務理事 平野 博幸

公共の場における他者への配慮義務について

会員のみなさまには埼玉県弓道連盟の諸事業にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本連盟宛に県民から公共交通機関利用にあたっての迷惑行為の通報がありました。事案は下記のようなもので故意は認められないものでしたが、たとえ故意でないにせよ、公共の場であること、弓道の道具が大きいこと等を考えれば、公共交通機関を利用する場合等にあつては私たちには十分な配慮義務があります。

会員のみなさまには公共交通機関利用等、一般のみなさまと触れる機会において、今後とも十分にご配慮をいただきたくお願い申し上げます。

記

1 通報された迷惑行為

電車内において複数人が大きな声で会話をしていた。会話に夢中になり周りの乗客への配慮が欠けていた。その結果、肩にかけていた矢筒が通報者の背中にあたっていることに最後まで（降車まで）気づいていなかった。

*通報には記されていませんでしたが、「ずっと背中にあたっていた」ということから、当時、車内はかなり混みあっていたと考えられます。

*弓は2メートルを超える長さがあり、公共交通機関においては持ち込みを禁止するところもあります。そうした状況を考えれば、他者への十分な配慮が必要になります。

以上